



このベントレーメッシュスタイルのフロントグリルという着眼点には舌を巻く。立体造形のメッシュはワンオフでセットアップ。旧型メイクは、まだまだ楽しめることを証明している

SPEC

BRABUSフロントリップスポイラー
G63純正フロントバンパー
ワンオフ・ベントレー・メッシュスタイルグリル
BRABUSリアバンパー
ブラックヘッドライト
ブラックLEDデイルイト
フロントLEDウインカー
ホイール:BRABUS MONO F プラチナムエディション (23インチ)
タイヤ:アドバンスポーツ (305/35)
ワンオフ・カーボンステアリング
4本出しマフラー
ブレンス・ファントムエグゼースト

また、注目すべきは青山ピットインオリジナルのワンオフ・ベントレーメッシュスタイルのメッシュグリル。大変珍しいセットアップだが、メッシュグリルから伝わる質感という感動がこのモデルから得ることができた。計算された63超え仕様で旧型の奥深さを知るはかりだ。

一方、この青山ピットインが手がけた従来型463Gは350。旧型350のカスタムは、今後も様々なバリエーションを見せてくれるのではないだろうか。このユーザーデモカーももちろん。ブラバスメイクのために純正63バンパーをセットアップ。63仕様を飛び越えるアップローチは潔い。その上で最大のアピールポイントとしてホイールセレクトが挙げられる。ブラバス・ホイールの最上級モデルMONO F プラチナムエディションの23インチをセットアップしているのだ。もちろん、これはオーナー氏のこだわり。63モデル×ブラバスを凌駕する極みが、そこにある。セットアップパーツは絞られているが、全体をシックなモノトーン調に仕上げたことで、逆にアイポイントによりホイールにフォーカスしやすくなっている。

ブラバスMONOブロックの23インチトップモデルを履くG63のブラバスメイクはコンプリートを含め、過去数度に渡り本誌でも追跡してきた。スクエアでがつりした大型バンパーをさらに際立たせ他を圧倒するエクステリアコードは、やはりブラバスだけが許されるカスタマイズと断言できるほどだ。



AOYAMA PITIN [青山ピットイン]

BRABUS × Mercedes-Benz G 350 d

旧型チューナースタイルの定番 350で63を凌駕するアップデート術

旧型463でのチューナースタイルで圧倒的な存在感を放ってきたブラバスメイク。エアロコスチュームはもちろんだが、ブラバス・フットギアへのこだわりの強いGファンは、じつは多い
青山ピットイン ☎03-3402-7515 www.aoyama-pitin.co.jp
PHOTO:木村博道